

関係委員意見聴取書面	
関係委員 (敬称略)	(所属) 公益財団法人笹川平和財団 海洋政策研究所 海洋政策研究部 部長／上席研究員 ----- (氏名) 赤松 友成
聴取日	令和 2 年 12 月 11 日 (金)
聴取者	環境省大臣官房環境影響評価課環境影響審査室 森審査官 環境省大臣官房環境影響評価課環境影響審査室 中村審査官
要領 4. (2) 利害関係者の除外	
・意見聴取しようとする事業に係る利害関係の有無。 利害関係 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	
要領 4. (3) 秘密保持の承諾	
・環境影響評価法手続に基づき作成される図書に含まれる希少な動植物種の生息・生育地の情報その他の秘匿すべき情報を外部にもらさない旨の承諾。 <input checked="" type="checkbox"/> 承諾 ・ <input type="checkbox"/> 非承諾	
<関係委員意見概要>	
工事实施時及び稼働時水中音、海生哺乳類等への影響について	<ul style="list-style-type: none"> ・工事中における水中騒音は、打設音の音源音圧が大きく影響範囲も広い。最もインパクトの大きい要因であり、工事区と対照区（工事の影響がないと推定され、工事区と同様の環境条件の調査点）で、工事前、工事中、工事後の事後調査を行う必要がある。稼働音というのはある特定の周波数にエネルギーが集中していることが多く、稼働時の事後調査を行う必要がある。 ・基礎部に生態系が構築されるまで数年かかるため、魚礁効果を確認するためには事後調査を行わないと分からない。そのため、可能であれば建設完了後 3 年程度の事後調査を行うことが望ましい。